

ますます拡大するドローンの脅威に対抗 更に進化した東芝のソリューションを国内初披露



展示会概要

不審なドローンの検知から対処までをワンストップで。
最先端の対ドローン セキュリティシステムをご紹介。



東芝グループは2022年10月5日(水)～7日(金)、東京ビッグサイトで開催されたテロ対策特殊装備展'22 (SEECAT) に出展し、3日間にわたり非常に多くのご来場者にお立ち寄りいただきました。

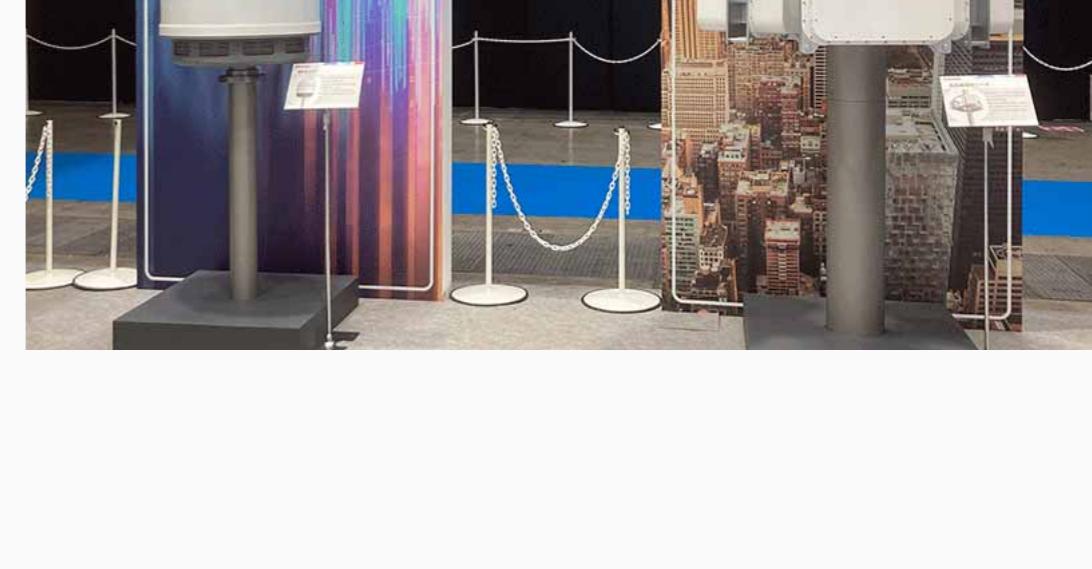
近年ますます増加する不審なドローンによる事件や事故を未然に防ぐためのソリューションとして、当社ブースでは「対ドローン セキュリティシステム」を展示。

ソリューションを構成する「RFセンサ」「短・中距離探知レーダ」「長距離探知レーダ」「自律型捕獲用ドローン」を披露し、不審なドローンの検知から対処に至るまで、一連のソリューションをご紹介いたしました。

最新のセンサを初披露。システムの可能性をさらに広げる、充実のラインナップ。

今回のSEECATでは、当社が独自に開発中の「長距離探知レーダ」と「RFセンサ」を、国内で初公開。これまでよりも更に遠方の小型の空中目標を検出可能な長距離探知レーダと、ドローンの発する電波のみを正確に検出できるRFセンサに注目が集まりました。

また、小型・軽量で設置が容易な「短・中距離探知レーダ」を運用に近い状態で展示し、実際のスケールと運用イメージをご来場いただいたお客様へご紹介。当社の対ドローン セキュリティシステムの可能性を更に広げる、豊富なセンサの数々をご覧いただきました。

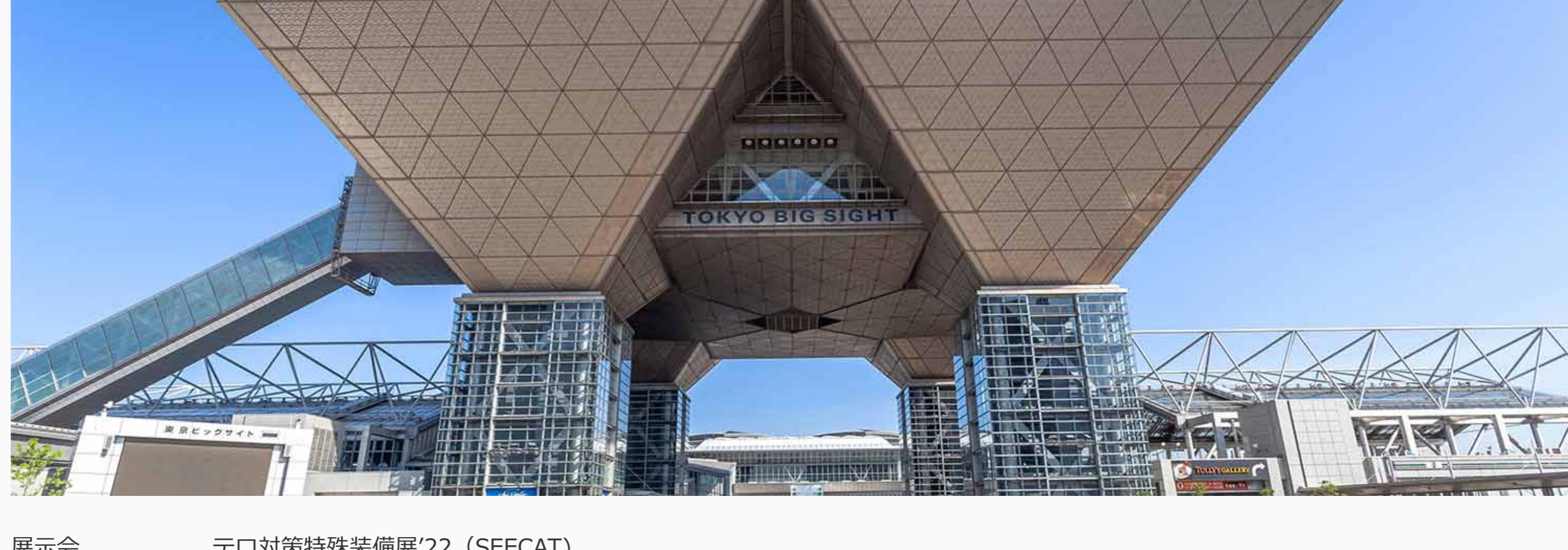


より効果的な対策として、検知から物理的な対処に至るトータルソリューション。

ドローンの利用拡大や昨今の世界情勢を受けて、特に防衛・重要施設において、不審なドローンへの有効な対処手段を求める声が高まっています。当社では、不審ドローンを物理的に捕獲し、より確実に対処できる「自律型捕獲用ドローン」を展示。実際に不審なドローンを捕獲する映像も放映し、その有効性をご覧いただきました。

また、システム全体を紹介するビデオも上映。監視制御システムを通して複数のセンサと自律型捕獲用ドローンが連携し、目標の検知から捕獲までの一連のオペレーションが実行される運用イメージをご覧いただき、実運用に向けた具体的なご提案をさせていただきました。

詳細情報



展示会 テロ対策特殊装備展'22 (SEECAT)

会期 2022年10月5日(水)-7日(金)

会場 東京ビッグサイト西2ホール

今後も展示会やイベントなどに出展し、東芝の対ドローン セキュリティシステムをご紹介させていただく予定です。今後の出展、イベント、デモンストレーションなどの情報をお知りになりたい場合は、メールマガジンで随時お知らせする予定ですので、ご登録をお願いいたします。そのほかソリューションの詳細を詳しく知りたい場合は、資料ダウンロードもしくは当社までお問い合わせください。

資料ダウンロード

お問い合わせ

[イベントレポートTOPに戻る](#)